

ドキュメンタリー映画「うまれる」自主上映会報告書

この度は映画「うまれる」の上映会を主催していただきまして、誠にありがとうございました。
以下の報告書にご記入いただき、上映終了から 1 週間以内に本報告書をメールへの添付にてお送りくださいませ。

■ 上映会主催者様について

学校名	(都道府県) 愛知県	(市区町村) 江南市	
	(私立・公立)愛知県厚生農業協同組合連合会	愛北看護専門学校	
ご担当者	古橋敏子	担当教科	母性看護学
お振込名義(お支払いがある場合)			

■ 上映会について

上映日時	2013年5月15日9時～11時	年 月 日 時～時
	年 月 日 時～時	年 月 日 時～時
視聴者	1年生	42人
	2年生	41人
	3年生	40人
	教員	12人
	学校関係者	人
上映会の目的	看護の日の特別講演	
学生達は集中して映画を観る事が出来ていましたか?		
<input checked="" type="radio"/> 出来ていた	<input type="radio"/> 概ね出来ていた	<input type="radio"/> どちらとも
	<input type="radio"/> あまり出来ていない	<input type="radio"/> 全く出来ていない
上映会を開催して良かったと思われませんか?		
<input checked="" type="radio"/> はい	<input type="radio"/> どちらとも言えない	<input type="radio"/> いいえ
また『うまれる』を学校で上映したいと思っていただけましたでしょうか?		
<input checked="" type="radio"/> はい	<input type="radio"/> どちらとも言えない	<input type="radio"/> いいえ
上映会当日の様子についてお聞かせください。		

事前に学生にはポスターやオリエンテーションで告知しており、楽しみにしていました。学生は真剣に見ており、涙したり、笑ったりと、全員が居眠りすることもなく、興味を持って鑑賞していました。

上映会を開催された感想をお聞かせください。

目的は、命の大切さ・家族の絆・人の繋がりについて考え、看護に役立てる、としました。学生は映画上映では、感動し、涙する者や感慨深く鑑賞していました。

学生からは、選ばれて生まれてくることや命の大切さ・生まれると言う意味について、家族の絆の大切さ、看護の視点で思いやりの心・その人らしく生きるためのケアなどを、また、男子学生は、男性の立場として大切な事を感じた点等、多くを感じ、学び、素晴らしい会となったと思います。

また、私は、そのあと、母性看護学の授業(生命倫理)にも結びつけることができました。

上映会開催にあたって、どのような方々に相談して実現されたのか教えてください。

被災地の看護学校に学校祭の義援金を寄付したことで、その学校さんより、感謝の念をいただき、毎年の卒業文集を被災の体験談の文集にしたものをお礼の手紙と一緒に送っていただきました。その看護学校から、「生まれる」の映画も紹介していただきました。

毎年、看護の日の特別講演で外部講師をお呼びし、開催していましたが、今年は、趣向を変え、「生まれる」の映画鑑賞と被災地の看護学生さんの体験談の朗読会をいたしました。

上映会開催にあたって支障になったことがあれば教えてください。

特にありません。

これから上映会を主催する学校関係者の方にアドバイス等ございましたらお書きください。

学生に動機付けをし、開催すればさらに良いものとなると思います

映画『うまれる』自主上映会主催報告書

どのような経緯で『うまれる』のことを知りましたか？
1.映画館で見て 2.知人/友人等の紹介 3.インターネット 4.テレビ 5.新聞 6.その他(上記参考して下さい。)
もし今回の上映会における反省点などございましたらお聞かせください。
その他、何かございましたらご自由にご記入くださいませ。
今回、当校の看護の日特別講演の趣向を変えて実施し、大成功となったのも、「うまれる」DVDに出会えたことによります。ありがとうございました。

ご記入ありがとうございました!

上映メディアは上映終了から3日以内に、郵送返却くださいませ。

※ 教員様やお子様のお声を無記名でブログなどでご紹介させていただく事がございます。

※ ご報告書のご提出がない場合は、支援金は適用されませんのでご注意くださいませ。

『うまれる』パートナーズ LLP

学校上映担当 徳田香織